## 本会における小規模事業景気動向調査の概要

軽米町商工会

本会では、平成29年度に策定した「経営発達支援計画」に基づき、小規模事業景気動向 調査を実施しました。また、従前から全国商工会連合会で実施している小規模事業景気動向 調査結果と本会独自で行った調査結果を集計・可視化しました。

## 1. 調査目的

小規模事業者の持続的な経営発展と事業展開に向け業種別、四半期別等に整理しつつ、全国動向との比較を行いながら、軽米地域の経済動向について分析する。分析結果については、巡回時に個別に提供するほかホームページ等により事業者に広く情報提供を行うとともに事業計画策定・経営戦略立案に繋げていく。

## 2. 調査時期

令和元年5月1日~令和2年3月31日

## 3. 調査対象者

軽米町内で事業を営む中小・小規模事業者等

### 4. 調査方法

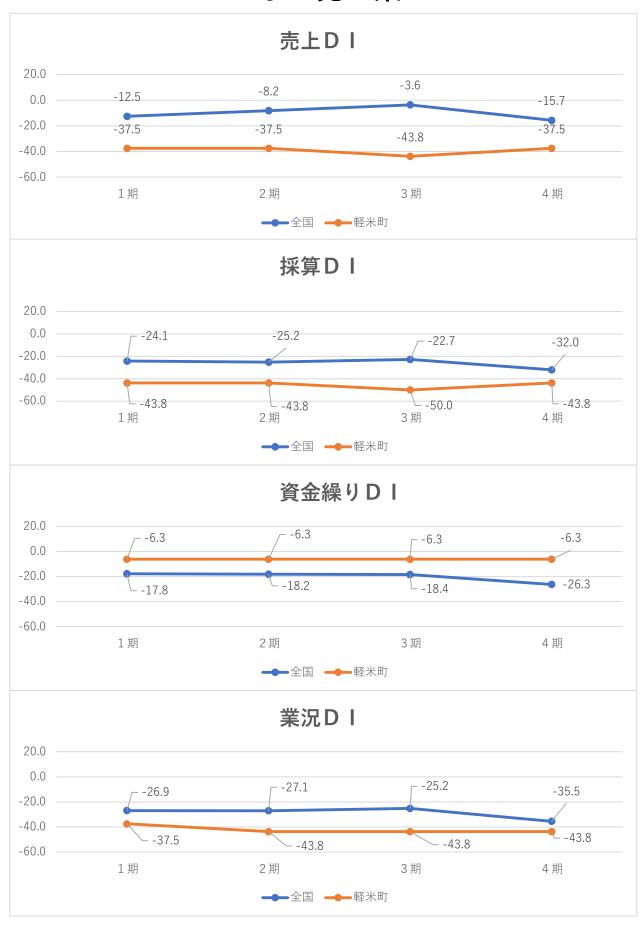
- ・巡回時や窓口相談に合わせて聞き取り調査を行ったほか、メール送付等によりアンケートの発送・回収を行った。
- ・小売業10社、サービス業3社、建設業4社、製造業4社の合計21社から回答を得た。

#### 【D・Iとは】

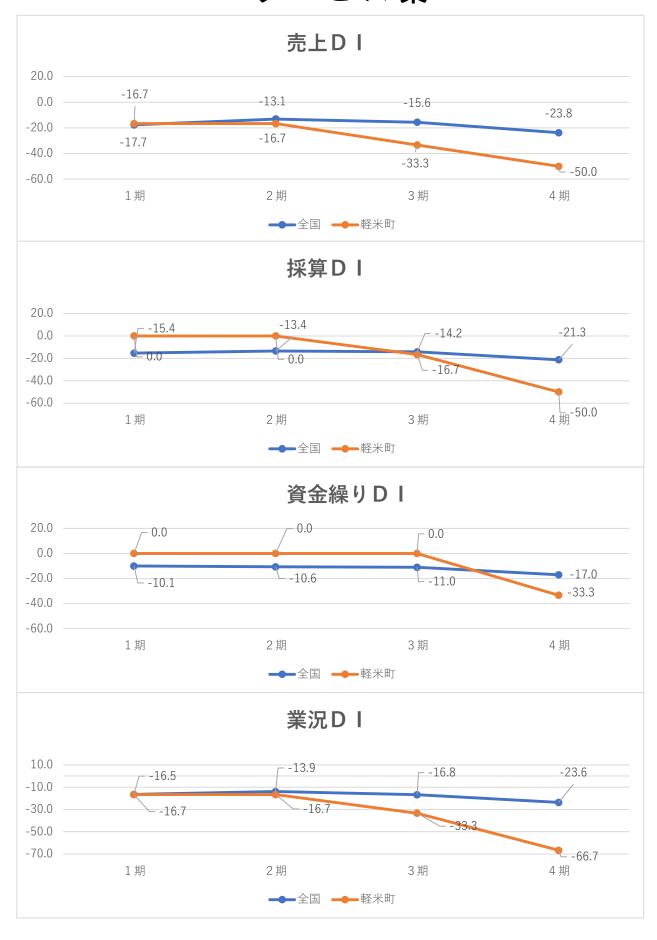
D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いたものです。D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。たとえば、売上高増加企業 50 %、不変企業30 %、減少企業 20 %の場合、D・Iは 50 20 30 となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

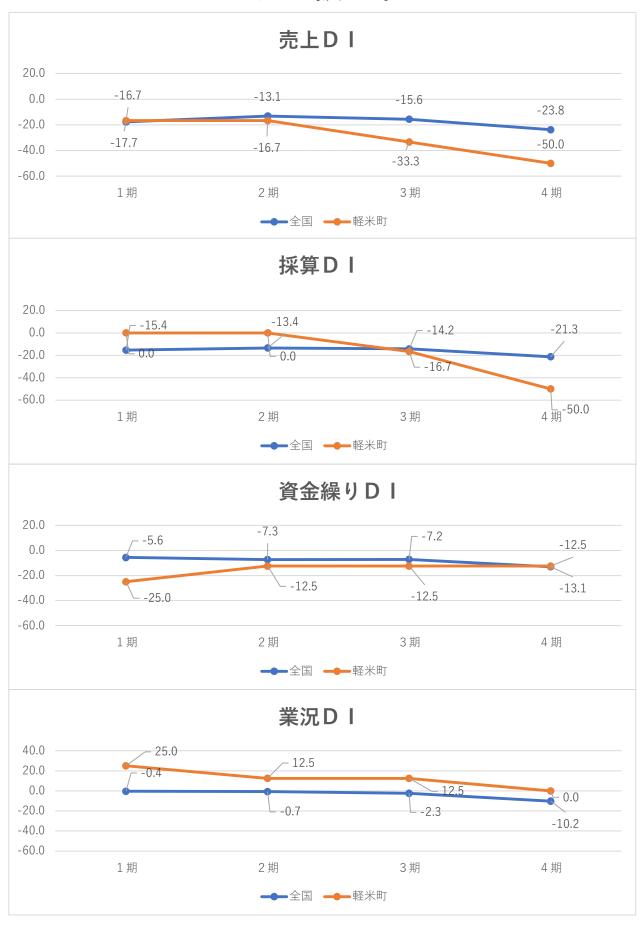
## 小 売 業



# サービス業



## 建設業



## 製 造 業

